

「東白川村郷土歌舞伎 復活 40 周年記念公演」口上

本日は、村内外から大勢の皆様にお越しいただき、東白川村郷土歌舞伎復活 40 周年記念公演が、かくも賑々しく盛大に開催できましたこと、心からお祝い申し上げ、また、御礼申し上げます。

思い起こせば昭和 52 年の郷土歌舞伎復活は、先輩の歌舞伎愛好者、有志の皆様の並々ならぬご苦労、ご尽力あつてのことです。

村内各地区にありました舞台も取り壊され、道具類も失われ、文字通りの無の中から、かつての記憶を頼りに一つ一つを手作りし、舞台を設えての公演であったと思います。

以来、40 年に亘り、郷土歌舞伎保存会を支えていただいた会員の皆様、保存会役員の皆様はもとより、長きに亘りご指導頂いた松本団升様、団女師匠様他関係者各位のご努力に対し深甚なる敬意を表すとともに厚く感謝申し上げます。

今や、地歌舞伎は岐阜県もその振興に力を入れ、県内各地 29 保存会で組織する「岐阜県地歌舞伎保存振興協議会」を通じ 県知事を筆頭に地歌舞伎を「岐阜県の宝」と認定しております。

そして地歌舞伎の基礎知識や楽しみ方を国内外に積極的に発信し、芝居小屋めぐりを外国人観光客の観光コースにも取り入れられています。

本村の歌舞伎保存会も一昨年前は「全国地域医療学会」総会に、そして坂祝町の農村舞台にと招かれ公演を行っております。

若い皆さんの地歌舞伎に対する取り組み・意欲も高く、その環境を整え、確かな後ろ盾となるのが行政の努めと認識しております。この村の人々が安心して暮らしを営み、充実した人生を送れるのも、先人の皆様が長い年月をかけて今日の東白川村を築き上げて下さった賜物でございます。この郷土歌舞伎も美しい村・東白川の輝きを更に輝かせるものとして大いに期待をしているところでございます。

東白川村郷土歌舞伎が今後とも東白川村の大切な文化的資産として末永く継承され益々発展していく事を心からご祈念申し上げ口上をもってご挨拶申し上げます。

平成 28 年 9 月 18 日

東白川村長 今 井 俊 郎